

令和5年度第2回甲賀市介護保険運営協議会 概要報告

1. 開催日時 令和5年8月2日（水）
午後2時00分～午後3時30分まで
2. 開催場所 甲賀市役所 301会議室
3. 出席者
委員 栗田会長、今村(陽)委員、奥村委員、山形委員、堀井委員、藪下委員
富岡委員、小川委員、飯田委員、福西委員、今村(慎)委員、奥嶋委員
西田委員 （出席13名・欠席3名）
事務局 健康福祉部 部長 澤田いすづ
次長 伴統子
長寿福祉課 課長 松井章
室長（地域包括支援室） 田口真理
課長補佐 山本好美、森地真弓
係長 近藤紀子、前田真美、奥村浩司、奥村直美
主任保健師 西田薫
受託業者 株式会社ぎょうせい
4. 傍聴 有（3名）
5. 会議次第
 - 1) 開会
市民憲章唱和
会長あいさつ
 - 2) 議事
第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定について
 - ① 第1回会議追加意見について
 - ② 人口・認定者数の現状と見直しについて
 - ③ 骨子案（第1部総論）について
 - 3) その他
6. 配布資料
【資料1】令和5年度第1回介護保険運営協議会追加意見
【資料2】人口・認定者数の現状と見直し
【資料3】甲賀市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画（骨子案）

7. 議事の概要

議事

第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定について

① 第1回会議追加意見について

事務局 資料1に基づき説明

会 長 ただいま説明いただきました件について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

委 員 意見・質問なし

会 長 学ぶ場所を知らないと回答した人が、どういう方法で情報を得ているのかわかるとよいが、調査ではそこまでないので、いろいろな方法を委員で意見があればいいと思う。また、口伝えもあるので発信をいろいろな形でしていくことを考えてもらえたらと思う。

② 人口・認定者数の現状と見直しについて

事務局 資料2に基づき説明

会 長 ただいま説明いただきました件について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

委 員 この人口推計には外国人が含まれているか。

事務局 推計は住民基本台帳をベースにしており、外国人が含まれている。

委 員 割合は分かるか。

事務局 約5%が外国人である。

③ 骨子案（第1部総論）について

事務局 資料3に基づき説明

会 長 ただいま説明いただきました件について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

委 員 甲賀市全体の高齢化率は28.7%であるが、地域によっては70%ぐらいのところもある。計画を策定するにあたり、そういう地域と平均的なところなど配慮はどうするか考えられたらと思う。

事務局 日常生活圏域ごとの人口データを10月に更新し見ていきたいと思う。事業

をしていくにあたっては、日常生活圏域ごとに必要となっているサービスなどを検討して開発していく取組もあるので次回確認いただく事業や取組の中で記載できればと思う。

委員 8ページの要介護・要支援認定者数について令和元年より令和4年の認定率が低くなっている。これは市が進めている施策によって低くなっているのか。

事務局 低くなっている理由は1つではないと思っている。下がっている期間はコロナ禍であったので家族で介護ができ介護認定の申請まで至らなかった場合や介護度の低い方では介護サービス事業所を利用することでの感染リスクを考えて認定を控えられた場合もあるかと思う。また、市としては介護予防に力を入れているので、こういった取組の効果もあったのではないかと思う。

委員 14ページの施策の進捗状況評価で2総合的・効果的な生活支援・介護予防サービスの基盤整備がとびぬけて低い。9期計画の中で健康づくり・介護予防の推進を基本的方向1に持ってきているので、8期計画で進まなかったところを重点的に取り組んでいくと理解してよいか。

事務局 8期計画では、基本的方向2には(1)介護予防・生活支援サービス事業の充実と(2)生活支援サービスの体制整備の2つの施策を設けていたが、骨子案では(1)が健康づくり・介護予防の推進に入れてあり、(2)は生きがい・地域づくりの推進に入れている。(1)には、通所型・訪問型サービス(従前相当・A)、サービスC、B、Dが入ってくるが、要支援・事業対象者の改善の見込みがある方に、どのようなサービスを提供することにより改善につながるのか十分に考えていく必要がある。サービスが提供できるように考えていきたい。

委員 実際に介護予防のサービスを提供しているデイサービスなどが、実際のところ事業対象者や要支援者が改善してサービスなしに以前の生活に戻れるイメージがあまり持てていないように感じる。サービスを利用し始めたら使い続けている方が非常に多いので市民啓発や事業所側も予防に対して共通認識していかないと改善に結びつかないので、計画に盛り込んでほしい。

会長 15ページの2つ目の○の分析コメントが上のグラフと合っていない。

事務局 記載誤りですので、修正する。

会長 ここは大事なところで、原因は何かというときに全体が低いのか一部が低いのかで見方が変わってくるので注意してほしい。

27ページ下から6行目、甲賀市は100歳体操を推進しているが「100歳体操を知らない」が21.1%で、予防として推進しているが実際知らないというところがあるので原因を考えていくことが必要と思う。

委員 先日、施設入所者の方が自宅で生活したいという相談があった。病気にな

って、病院で治療ももちろん大事だが、自宅で過ごしたいという方も多いので、在宅での生活支援サービスをもう少し重点的にやってもらえたらと思う。自宅で毎日の生活をしていくのは、高齢者世帯や1人暮らしの高齢者であれば、現実としてはなかなか難しいが、自分の生まれ育ったところで最期まで生活したいという思いがあると思うので配慮できることがあれば計画に取り込んでいただきたい。

事務局 昨年度実施したアンケートでも最期を迎えたい場所として自宅を選ばれていた方も多くおられた。生活支援体制整備事業を行っており、住民同士で助け合う仕組みづくりを行っている。計画の中で、具体的な生活支援まで記載できないが、生活支援体制整備事業の中でサービスの開発やそこに参加していただける担い手を増やしていく、また、担い手の生きがいや介護予防になるといった良い循環が生まれる地域づくりが必要と思っているので、こういった視点でも記載できるようにしたい。

委員 支援が必要な人はどんどん増え、介護する人が不足していく現実があるので、ケアマネジャーや介護職などの人材の育成をきちんと計画に記載してほしい。

委員 介護者の会の中で、介護者から今は介護サービスも充実していて仕事にも行けるという話や介護者も高齢で老々介護となり自分がどうなるか分からないので100歳体操に行っているという方もいれば、外に行けない方もおられる。傾聴ボランティアで介護を受けている方の自宅に行きお話を聞かせてもらうものがあるが、家族から来てもらうのが大変助かると聞かせてもらう。家庭にとっては精神面で大変助かるが、傾聴ボランティア養成講座の開催が少なく、後が続かない。活動の裾野を広げるためにも、こういう講座は必要であるので、市でも講座を開催して活動を広げてもらいたく、傾聴活動に対しても支援があればありがたい。

事務局 地域の方の活動がますます重要になってくると市でも思っている。8期計画でも基本的方向5の生涯現役の地域づくりの推進にボランティア活動の推進を記載している。引き続き、第9期計画においても記載をしていきたい。

会長 37ページの表ですが、左側に回答の項目があるが質問項目そのままなのでポジティブな項目とネガティブな項目を同じ色分けになっているので良いのか悪いのかが分かりにくい。例えば、全部ポジティブな表現にした方が次の説明が分かりやすいのかと思う。見やすいように考えてほしい。

資料2でコーホート変化率法など説明があったが、最後に用語解説で入れる言葉かと思うので解説をつけて分かりやすくしてほしい。

副会長 第8期の評価や課題を出し基本理念や基本的方向を出してもらった。次の展開として、ハード面は見れば分かるがソフト面がなかなか見えてこない。第8期で介護人材の確保・育成を重点としているか実際にどのように育成や確保をされているのか施策が見えないので、取組の目標ができると分かりやすいので考えてほしい。このような大きな会議の場で考えるのもよいが、小

さなワーキンググループで課題を解決していくものよいのではないか。

事務局 次回会議で検討いただく事業や取組は数値目標があることで計画期間にどれくらい達成したかはっきり分かり、取組も具体的に記載することで市としても取り組むことがはっきりするので具体的に記載できるところは具体的に記載するよう検討する。

会 長 難しいところではあるが検討してほしい。

3 その他

事務局 次回会議は、9月29日（金）に開催。

・会議内容の公開又は非公開について

事務局 本日の会議内容の公開・非公開について、当協議会は市の附属機関にあたるので公開が原則となる。本日の会議で個人情報等非公開にしなければならない内容は含まれていないのですべて公開とし、議事録での発言者は個人名ではなく委員として公開することとしてよろしいか。

委 員 了承